

2 学年題材指導計画

すてきな音を見つけてきき合おう（6 時間扱い）

1．題材のねらい

音の響きの違いに気付いたり、音の出し方を工夫したりして、音色に関心をもつようにする。
楽器の音色や響きを感じ取りながら、聴いたり演奏できたりするようにする。

2．教材について

（1）すきな音をあつめよう

《小学校学習指導要領 1・2 年の内容との関連》 A(4)イ

身の回りにある物や楽器からでる音の違いに気付いたり、音の出し方を工夫しながら新しい音を見つけていくことの楽しさを味わうことのできる教材である。音に対する関心を高め、音に対する感覚を育てていくようにしたい。

（2）虫のこえ

文部省唱歌

《小学校学習指導要領 1・2 年の内容との関連》 A(2)ア A(2)ウ A(4)ア A(4)イ

情景を思い浮かべたり、その雰囲気を感じ取ったりして思い描いたイメージで音を表す体験ができる。一人一人の異なる感じ方を活動に生かしながら、雰囲気を伝える音づくりを体験し、音色に関心をもって、表現の仕方を工夫する習慣を身に付けるようにしたい。

（3）音で感じを表そう

《小学校学習指導要領 1・2 年の内容との関連》 A(4)イ

身の回りにある音素材や楽器の組み合わせ方によって、対比の面白さを味わったり、楽しい表現を工夫できる教材であり、音から感じる気分、雰囲気、イメージなどを生かして表現する活動もできる。この学習で、音に注意深く耳を傾ける習慣や、音を感じて表現を工夫する感覚や能力を育てたい。

（4）かじやのポルカ

作曲 ヨゼフ シュトラウス

《小学校学習指導要領 1・2 年の内容との関連》 B(1)ウ

ワルツの父として知られるヨハン シュトラウスの次男であるヨゼフ シュトラウスの作品である。明快な 2 拍子のポルカのリズムで、拍の流れを感じ取って聴くのには格好の曲である。まずは自由に歩いたり、踊りのまねをしたりしながら聴く活動などによって、曲に親しませたい。

また、いろいろな楽器の音色を感じ取ったり、オーケストラの響きを味わったりしながら楽しく聴くようにしたい。

3. 題材の評価規準

	ア 音楽への関心意欲 態度	イ 音楽的な感受や 表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材 の 評 価 規 準	いろいろな音に関心を 持ち、音を探したり、 組み合わせたりする楽 しさを味わっている。	音や響きの違いを感 じ取って、演奏の仕方 を工夫している。	即興的に音を探して 表現する活動を楽し んでいる。	様子を思い浮かべたり、音の強弱に気付い たりして聴くことが できる。
学 習 活 動 に お け る 具 体 の 評 価 規 準	いろいろな音に関心 をもち、進んで音を探 している。 【Aと判断するキー ワード】 自分なりの工夫 場面のイメージを生 かして全体を構成し、 お話を作ることを楽し んでいる。 【Aと判断するキー ワード】 創意工夫を生かし た音作り	音の大きさや変化 を、イメージしながら 音で表す工夫をして いる。 【Aと判断するキー ワード】 適切な楽器の選 択 創意工夫を生かし た音作り 様子を思い浮かべ て、イメージにあった 音を工夫したりして いる。 【Aと判断できるキ ーワード】 効果的な音の表 現 歌詞の内容を感じ て歌い方を工夫して いる。 【Aと判断するキー ワード】 虫の鳴き声の表現 の工夫	曲のイメージにあ った音を即興的に探 して表現している。 【Aと判断するキー ワード イメージにふさわ しい楽器 イメージに合う音 の追求	場面を想像したり 金床の音やリズムの 面白さを感じたりし ながら聴くことがで きる。 【Aと判断するキー ワード】 音に対する鋭い反 応

4. 指導と評価の計画（7時間扱い）

： 取り扱い重点項目

： 取り扱い項目

時	主な学習活動	具体 の評価 規準	指導要領 との関連	内容のまとめり との関連				評価方法等
				歌 唱	器 楽	創 作	鑑 賞	
1	<p>【すきな音をあつめよう】</p> <p>身の回りのものを使って、いろいろな音の出し方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き缶を使って、いろいろな音の出し方を工夫する。 	ア -	A (4)イ					演奏聴取 行動観察
2	<ul style="list-style-type: none"> ・缶の中に入れる物や缶の大きさを変えて、気に入った音を探す。 <p>身の回りにある打楽器の奏法を工夫して、気に入った音色や音の大きさを表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で工夫した音の出し方と似た奏法の打楽器を見つける。 ・奏法を工夫し、自分が気に入った音色や音の大きさを見つけて発表する。 	イ -	A (4)イ					演奏聴取 作った音の発表 行動観察
3	<p>【音でかんじをあらわそう】</p> <p>虫の声のイメージを音で表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある気に入った打楽器を見つけて、イメージに合った音の出し方を工夫する。 <p>音の強弱の変化に気づいて表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とおくできこえる虫のこえ」と「ちかくできこえる虫のこえ」の感じを奏法を工夫して表現する。 	イ -	A (4)イ					行動観察 発言
		イ -	A (4)イ					演奏聴取

4	<p>【虫のこえ】 様子を思い浮かべて歌詞唱をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さし絵や歌詞を手がかりにしながら範唱を聴く。 ・場面の様子を思い浮かべながら歌う。 <p>虫の鳴き声を音で表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虫の鳴き声のイメージを、身の回りにあるものから探す。 ・音の出し方を工夫し合う。 	イ -	A (2)ア					歌唱聴取 音づくり 行動観察
5	<p>【かじやのポルカ】 金床の音やリズムのおもしろさを感じながら聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様子を思い浮かべて聴く。 ・手拍子を打ったり体を動かしたりしながら聴く。 ・感じたことを学習カードに記入する。 	エ - エ -	B (1)ウ B (1)ウ					行動観察 発言 学習カード つぶやき 身体表現
6	<p>【虫のこえ】 曲の気分をつかんで歌い方の工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情景を思い浮かべ、歌い方を工夫する。 <p>虫の鳴き声の部分を工夫して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞に出てくる虫の鳴き声の様子について話し合う。 ・「遠くにいる虫」「近くにいる虫」の感じをイメージしながら工夫して歌う。 	イ - イ -	A (2)ア A (2)ア					歌唱聴取 表情観察 歌唱聴取 表情観察
7	<p>見つけた音と歌で、雰囲気を生かした表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見つけた音を鳴らすグループと歌のグループに分かれて練習する。 ・朗読、秋の音、虫の声などに分かれて、歌と合わせて全体を表現する。 	イ - イ - ア - ウ -	A (4)イ A (2)ア A (4)ア A (4)ア					行動観察 演奏聴取 発言 演奏聴取